◆７月の主な行事予定◆

・7月１日：1年授業参観　2日：2年授業参観
・7月３日：3年授業参観
・7月9日：新入生保護者部活説明会
・7月15日：あゆみ診断テスト
・7月27日～：教育相談開始
・7月31日：終業式

東雲

http://kanuma-school.ed.jp/j-higashi/

【発行者】
栃木県鹿沼市立東中学校
住所　鹿沼市府中町393
電話　0289-62-7225
FAX　0289-62-7226
校長　斎藤　美智雄

※　事務室から・・・毎月一五日が学校集金の引き落とし日になります。

学校生活再スタートにあたり

六月一日より、学校が再開しました。長い間学校生活から離れていたためか、体力が落ちていたり、まだまだリズムが取り戻せないようです。一週目は四十五分授業を五時間、二週目から四十五分授業を六時間とし、徐々に以前の生活スタイルが取り戻せるように日課を組んでいます。我々職員も、学校が再開したとはいえ、新型コロナウイルス感染防止に最大限の注意を払い、教育活動を行わなければなりません。よって「新しい生活様式」を考慮した授業の在り方や学校生活のスタイルを六月一日に指導しました。

今後の学校行事については、対外的な行事はもちろん、校内での学校行事についても、新型コロナウイルス感染防止対策に最大限の配慮をしなければなりません。昨年度と同様に実施できないものもありますが、職員一同、知恵を出し合って、現状における最適解を見い出したいと思います。

今後とも、生徒の生命の安全を保ちながら、保護者、地域の皆様の協力を得て教育活動を進めてまいりますので、よろしくお願いします。



主幹教諭

健康で安全な生活のために

生徒一人一人が感染防止対策をしっかり行い、自分自身の命を、そして、まわりの大切な人の命を守り、この再開が継続でき、安心して学習活動が行えるよう努めていきます。

保護者の皆様には、子どもたちを感染症のリスクから守り、健康で安全に過ごせるよう次の点について御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

○お子さんの登校前に、毎朝必ず、検温と体調チェックをして「健康観察カード」への記入や確認をお願いします。発熱や咳、だるさ等かぜ症状が見られる場合は、無理をせず、自宅でゆっくり休養させてください。

○感染症予防の三原則は、次の三つです。

①感染経路を絶つ(こまめに丁寧な手洗い、マスクの着用と咳エチケット)
②感染源を絶つ（不用な外出や接触）
③抵抗力を高める(十分な睡眠・バランスのとれた食事・適度な運動)

○これから暑くなり、熱中症も心配されます。感染症防止対策に加え熱中症予防対策に取り組んで参ります。

引き続き、御協力をよろしくお願いいたします。



保健主事

新しい学校生活

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、「新しい生活様式」が提唱されるなど、生活への影響が長期化することが懸念されます。六月一日から学校再開となり、本校でも感染防止対策に努めています。具体的には、手洗いや換気、消毒の徹底はもとより、感染拡大のリスクを高める3つの条件（密閉・密集・密接）を極力避ける様々な取組を実施しています。

また、新型コロナウイルスに関する人権教育も進めています。感染者や濃厚接触者とその家族、そして医療従事者や社会機能の維持にあたっている方などに対する偏見や差別につながるような行為は決して許されるものではありません。病気に対する不安は誰にでもあります。だからこそ今必死に病気と闘っている方々の気持ちになって考えることを、生徒たちに示していきたいと思います。

ＷＩＴＨコロナ。新型コロナウイルス感染防止に努めながら、生徒たちにとって充実した教育活動を進めていきたいと思います。



生徒指導主事

聞こうと「思えば」聞ける

臨時休業中は、多くの生徒が、授業がないため、学習内容を自分で分かるようにしなければいけないと感じ取り、主体性を大いに発揮して粘り強く学習に向かいました。困難な時こそ、自ら粘り強く学びに向かう姿勢は、本校の学習指導で最も大切にしていることです。おそらく分からなくて苦労したことも、最後まで分からなかったということもあったことでしょう。しかし、その頑張りによって得られた多くのことがあるはずです。このような生徒たちの力強さを、誇りに思います。

しかし、学校が再開された今、授業があるから、ただ聞いていれば学習内容を理解できるだろうという受身的な姿勢になってしまったらどうでしょうか。おそらく学習内容の定着度は下がってしまうことでしょう。ほんの一か月前は、（ここが分からないから、教えてほしいな）と思っていたはずです。それが、ようやくできるようになったのです。自ら聞こうと思えば、聞けるようになりました。

私たち教員は、教科の内容だけでなく、「教科を学ぶ意義」を生徒に考えさせることを通して、今後も目標に向かって自ら進んで粘り強く学び続けることができる力を育てていきます。

保護者の皆様も、引き続きの御理解と御協力を、よろしくお願いいたします。

学習指導主任

三年生の集大成を飾る

今年度は、全国規模の大会やコンクールはもとより、県総体・県音楽祭が中止となり、地区の大会や音楽祭までもが中止となりました。この決断は、生徒や関係者の命と安全を守るための苦渋の選択だったはずです。

三年生は、最後の大会が中止になり、不安や悲しみを抱いていることと思います。力が出せずに終わった、進路がかかっていたのに、今までの努力はなんだったのか、感謝を伝えられなかった…等。

しかし、この思いは部活動を通して得たものであると思います。一緒に笑い、励まし、競い合った仲間、支え応援してくれた人たち、努力の大切さや努力して得られた喜び、本気でやり抜くことの素晴らしさ、辛くても自分を越えるために頑張る忍耐力、自分やチームを伸ばすために試行錯誤すること、自分の未来につながること、感謝の気持ち…。

変えられるものと、変えられないものがあると思います。中学生という輝かしい日々を、後ろ向きになってしまうより、残りわずかですが、部活動を通して、どうしたら輝かしい毎日にしていけるのか、顔を上げて前を向いて、仲間や先生と、本気で知恵を絞って、三年生の集大成を作り上げたいと願います。

保護者の皆様、地域の方々、これから力強く前に進もうとしている三年生を、中学生を、温かく最後まで支え、見守っていただきたいと思います。よろしくお願いします。

部活動担当



心身の健康のために

長い臨時休業により、家庭で過ごすことが強いられました。思いっきり運動したり、友達と会えない状態により、イライラしたり、不安になったり、夜眠れなくなったりとストレスになっていることが社会的問題として報じられています。本校では、新型コロナウイル感染症に起因する様々な悩みやストレス等の把握のため「心と身体のアンケート」を三回実施しました。不安を抱えている生徒の割合は、一年生が四三．七％、二年生が四〇．七％、三年生が四五．八％でした。

生徒のコメントには、「三年生で受験が心配です」「いろいろな行事ができないのは悲しい」「修学旅行はどうなるのか」「勉強はしているけれどやる気が出ず気持ちばかり焦っています」等、学習や受験への不安、生活リズム、学校行事、部活動はどうなるのか等、現状への不安の訴えがありました。

生徒達の心のケアに努めるため、アンケートは、今後も定期的に実施し、心身の健康状態を把握していきたいと思います。また、教育相談を充実させ、生徒一人一人の気持ちに寄り添いながら心のケアに努めていきたいと思います。

なお、カウンセラーによる相談も随時受け付けておりますのでご活用ください。

適応指導担当